

# 社会科 3年 教科の目標

- ① 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

## 学習計画

1学期 (週 4 時間)				2学期 (週 4 時間)				3学期 (週 4 時間)									
月	週	内容			月	週	内容			月	週	内容					
		【志村】2時間	【齋藤】1時間	【鹿野】1時間			【志村】2時間	【齋藤】1時間	【鹿野】1時間			【志村】2時間	【齋藤】1時間	【鹿野】1時間			
4	1	ガイダンス			9	17	世界の多極化と日本	人権と日本国憲法	市場経済の仕組みと金融	1	35	国の政治の仕組み	地方自治と私たち	国際社会の仕組み			
	2	第一次世界大戦と民族独立の動き	現代社会の特色と私たち	消費生活と市場経済		18	世界の多極化と日本	人権と日本国憲法	市場経済の仕組みと金融		36						
	3					19					中間考査				37		
	4					20					冷戦の終結とこれからの日本				人権と共生社会	財政と国民の福祉	38
5	5	大正デモクラシー	私たちの生活と文化	生産と労働	21	現代の民主政治	これからの人権保障	これからの経済と社会	39	これからの地球社会と日本		3年間の総復習	さまざまな国際問題				
	6	22			人権と日本国憲法				市場経済の仕組みと金融					40			
	7	23									国の政治の仕組み			地方自治と私たち	国際社会の仕組み	41	
8	24	24	42	期末考査													
9	25	25	43	これからの地球社会と日本													
10	26	26	44														
11	27	27	45														
6	9	第2次世界大戦と日本の敗戦	現代社会の見方や考え方	生産と労働	11	28	期末考査			12	29	現代の民主政治	これからの人権保障	これからの経済と社会			
	10	30	日本の民主化と冷戦	人権と日本国憲法		市場経済の仕組みと金融	31	国の政治の仕組み	地方自治と私たち		国際社会の仕組み						
	11	32					期末考査								現代社会の見方や考え方	生産と労働	32
12	33	33															
13	34	34															
7	14	日本の民主化と冷戦	人権と日本国憲法	市場経済の仕組みと金融	12	31	現代の民主政治	これからの人権保障	これからの経済と社会	1	35	国の政治の仕組み	地方自治と私たち	国際社会の仕組み			
	15					32									このからの地球社会と日本		
	16					33											
	16					34											

※年間を通して、3年間の復習を行います。

## 評価について

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33	観点の割合	33	観点の割合	33
評価資料	授業中の取り組み等		授業中の取り組み等		授業中の取り組み等	
	提出物		提出物		提出物	
	小テスト		小テスト		小テスト	
	定期考査		定期考査		定期考査	

## 学習の仕方と評価のポイント

- ◆ 毎回の授業に全力を尽くす。  
前向きに授業に参加する、与えられた課題をしっかりとやる、忘れ物をしない、遅刻をしない。
- ◆ 提出物を期日までに必ず出す。
- ◆ 社会科の学習は、「繰り返し」と「自分の言葉でまとめる」が重要。